

多比良小学校 「わたしたちの森づくり」卒業記念植樹



2月22日(月)、雲仙市国見町 遊々の森「奥雲仙牧場の森」で、多比良小学校6年生による卒業記念植樹が行われました。この植樹は「緑と生き物賑わい事業」の一環としてNPO法人奥雲仙の自然を守る会が企画したもので、植樹の指導に宮本造園、その他6つの機関や団体のご協力のもと行われました。今回植樹した樹木はヤマボウシ・ミヤマキリシマ・ヤマモミジの3種で、もともとこの森の中で育っている樹木だそうです。



参加した6年生は「スコップの使い方が難しい」「土はどの様に被せていいのかな」と慣れない作業に戸惑いながらも、大きく育つようにと願いを込めながら楽しんで取り組みました。宮本造園さんのお話では春には根が張り始めるそうです。大きく育ち、季節ごとに森に彩を与えてくれる時期が待ち遠しいです。

NPO法人奥雲仙の自然を守る会 青少年育成担当の入口氏より、春や秋に色づいた頃の奥雲仙の森が写真パネルで紹介され、「6年生の皆さんの成長とともにこの木も育ちます。将来ぜひその姿を見に来てほしい。」と話されました。最後に児童全員には当会が森林整備で伐採したイヌツゲの手作りキーホルダーがプレゼントされました。



児童へのプレゼント
イヌツゲの木のキーホルダー